

フィルムケースを使った科学工作

1 ぶんぶんせみをつくろう！



子どもたちは、千枚通しを使って穴を開けたり、折り紙を切り抜いて絵を描いたりしました。姫路飾西自然科学部は子どもたちの先生になって、けがをしないように気をつけながら、セミを回して上手に音が出るまで一緒に楽しく工作しました。また、「なぜ音が出るの?」「なんでこんなセミの鳴くような音がするの?」などの質問に、科学的な根拠を含めて、分かりやすく説明しました。

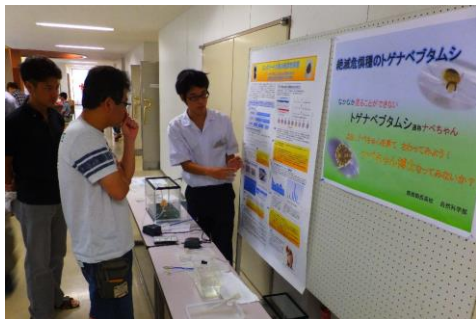
2 フィルムケース笛をつくろう！



はさみを使って固いフィルムケースを穴を開け、ストローをセロハンテープで音の出る位置を探りながら取り付け、笛を作りました。音の出る位置を探すのに一苦労しましたが、子どもたちは音が出ると「やったー」と喜んでくれました。また、いろいろな音が出る笛の吹き方まで、自然科学部の生徒たちは丁寧に指導しました。

研究展示

絶滅危惧種 トゲナベタムシの生態解明



自然科学部が現在研究している絶滅危惧種「トゲナベタムシの生態解明」の展示をしました。どのような繁殖方法を営んでいるのか、何をエサとして生活しているのか、分からないことの多い生態を、現在も調査・研究しています。子どもたちだけではなく、大人の人たちにも興味を持たれ、自然科学部では、現時点で分かっている内容について詳しく説明をしました。